

事業報告

(平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日まで)

当連結会計年度（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）における国内経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等の効果により、企業業績や雇用環境が堅調に推移し、緩やかな回復基調が続きました。

不動産業界においては、賃料上昇の期待や良好な資金調達環境を背景に不動産取引が活発に行われました。取引の活性化に伴い、都心部の物件を中心として不動産価格は上昇傾向にあります。東京都心 5 区における平成 30 年 12 月末時点の平均空室率は 1.88%と、前年同月比 1.24 ポイント下落しました。また、同エリアの同時点における平均賃料は 20,887 円/坪と、小幅ながら引き続き上昇し、60 ヶ月連続の上昇となりました（三鬼商事調べ）。

このような状況の中、当連結会計年度も引き続きコンサルティング案件数及び不動産預り資産残高の増加に向けて取り組みました。収益力向上のための大規模改修工事を引き続き複数件実施したことにより、売上原価は増加傾向となっております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高 14,287 百万円（前期比 10.8%増）、営業利益 1,375 百万円（前期比 8.6%減）、経常利益 863 百万円（前期比 25.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益 671 百万円（前期比 21.2%減）となりました。